

意見聴取者	意見	対応(案)	計画書での記載
名古屋工業大学 鈴木准教授	施策1-⑤は様々な利用者の声を聞くことはもちろん重要ですが、他地域、他国の先進的な自転車の交差点処理等の先進事例の調査分析なども必要かと思えます。	自転車通行空間の改善の検討にあたっては、他地域、他国の先進事例の調査分析を実施します。	施策1-⑤ 「様々な利用者の意見や、 <u>他地域、他国の先進事例の調査分析により、路肩や交差点等の自転車通行空間の安全性・快適性の改善を検討する。</u> 」
名古屋工業大学 鈴木准教授	施策1-⑦について各自治体に作成頂くマップを取りまとめ、HPやSNS等で公開してはどうか。その際、多言語で作成するなど、外国人向けの対応も併せて行って頂くとよろしいかと思えます。	マップのとりまとめを行い、情報発信を行います。外国人向けの対応については、このマップは観光用でなく、まちに暮らす人に向けたマップを意図していますので、各市町村において作成する際に、必要に応じて多言語化を検討します。	施策1-⑦ 「自転車利用者の利便性向上を図るための自転車マップの作成について、優良事例を紹介するなどにより県内市町村に作成を促すとともに、 <u>マップを集約し情報発信を行う。</u> 」
名古屋工業大学 鈴木准教授	施策3（自転車通行空間上の違法駐車取り締まりの推進等により、自転車通行空間の確保を促進する。）で列挙された取り組みを道路利用者（ドライバー、自転車）に周知する必要もあると思えます。	ドライバーを対象とした交通安全啓発の機会において、 <u>施策3の内容を含む自転車の保護についての啓発</u> を行います。	施策13-⑩ 「自動車教習所において、地域の実情に応じ、路上教習や路上試験で自転車専用通行帯のある道路を走行し、自転車への注意喚起を促すなどの教育を実施するほか、各種運転者教育や <u>ドライバーを対象とした交通安全啓発の機会において自動車の運転者の立場から、自転車の保護についての啓発</u> を実施する。」
名古屋工業大学 鈴木准教授	施策13について、県民のみならず国内外からの来訪者向けの自転車ルール周知（特に、観光客向けの自転車利用の注意点の周知（リーフレットを作成いただき、観光案内所、レンタカー屋などで配布し、自転車、自動車双方の利用者に知っていただく））にも触れて頂ければと思えます。	来訪者への自転車ルールの周知については、サイクリストの受入環境整備の一環として、ルートマップ等において周知していきます。また、訪日外国人を考慮し、多言語化の検討も行います。	施策11-⑤（施策11-①、②） 「関係者に対して協力を要請することにより、道の駅のサイクリング拠点化や、鉄道駅や空港におけるサイクリストの受入サービスの充実を図る。また、 <u>訪日外国人を考慮した分かりやすい案内、ルール周知等の受入環境整備についても検討</u> する。」

意見聴取者	意見	対応(案)	計画書での記載
愛知県サイクリング協会	自転車横断帯が設置されている交差点では、自転車は自転車横断帯を通行しなければならないが、車道走行している自転車が横断帯を通り交差点を直進する場合、交差点を左折するように見え、自動車側の勘違いを招く恐れがあり危険である。自転車横断帯の消去を進めると合わせて、矢羽根の設置をお願いしたい。	自転車交通を含め、全ての交通に対して安全と円滑を図るため、道路標示の適切な見直しを行います。矢羽根の設置は自転車ネットワークに基づき設置してまいります。	施策1-6 (措置1-2) 「自転車交通を含め、全ての交通に対して安全と円滑を図るために、信号機、道路標識、 <u>道路標示を適切に設置、見直しを行う。</u> 」
愛知県サイクリング協会	サイクルトレインの普及はぜひともお願いしたい。専用車両が出来れば理想だが、時間帯や車両を区切れば出来ることもあるのではないかと。今は田舎が中心であるが、都市間で導入できれば効果は絶大と思う。駅の構造も課題はあると思うが、諸外国では階段の端に10cm幅のスロープがあり、そこを押して乗せられるようになっている。	ご指摘の内容は、事業者への働きかけを行う際の参考にさせていただきます。	施策4-5 「定例的に開催している事業者との意見交換の場等において、 <u>サイクルトレインやサイクルバス等の導入について働きかけを行う。</u> 」
愛知県サイクリング協会	自転車運転者が危険行為を繰り返した場合に受ける自転車運転者講習について、違反者だけでなく、一般の人でも受けられるようにできないか。自転車のルールを学びたい人が学ぶための良い機会になると思う。	自転車運転者講習は、法令に基づき受講対象者から受講手数料を徴して3時間実施するものであるため、講習そのものを一般の人を対象に実施することは難しいが、講習における講義内容は自転車の基本的な交通ルールや交通違反の危険性などが中心であり、従来から実施している交通安全講話や各種学校等を対象とした自転車交通安全教室等の交通安全教育と大きく変わるものではないことから、一般を対象とした自転車交通安全教育として、これらも取組を継続していきます。	施策13-1 (施策13-2、7、施策14-1) 自転車利用者に対して交通ルールの周知を図り、自転車は車両であることの意識を徹底させる。自転車乗用中の交通事故防止や安全利用を促進するため、「交通の方法に関する教則」や「自転車安全利用五則」を活用し、歩行者や他の車両に配慮した通行、歩道通行時におけるルール等、自転車の正しい乗り方に関する普及啓発を図る。
愛知県サイクリング協会	車道を右側通行するなど危険な運転をする自転車をよく目にする。交通安全のためには交通ルールを学ぶことが極めて重要であり、学校の交通安全教室等の効果を高めるために、出来る限り交通安全のプロである外部講師を活用することが重要である。	交通安全教室等については、外部講師も活用するなど、効果的な交通安全教育に取り組みます。	施策14-1 「国公立の小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校等の学校において、発達段階に応じた交通安全教育が実施されるよう、 <u>外部講師も活用するなどして交通安全教室等を着実に開催し、交通安全の意識を推進していく。</u> 」
愛知県サイクリング協会	子供たちが自ら安全を学ぶような仕組みができると理想である。たとえば小学校のクラブ活動に安全クラブを作ることや、不可能とは思いますが、大学入試に、安全の学科を入れるなどができれば、世の中の安全に対する意識が大きく変わると思う。	子供たちが交通安全を学ぶ取り組みとしては交通少年団があり、県としてもその育成に協力しています。	
愛知県自転車モーター商協会	適切に点検整備された自転車に乗ることが重要である。適切に点検整備された自転車に貼付られるTSマークは、障害補償や損害責任補償もついており、この普及促進を行うと良い。	自転車の点検整備の促進に向け、TSマークなどの周知を図っていきます。	施策12-3 「 <u>自転車損害賠償保険等への加入促進と、自転車安全整備士が点検整備した普通自転車に貼付されるTSマーク(賠償責任保険等付)などの各種制度の周知を図る。</u> 」

意見聴取者	意見	対応(案)	計画書での記載
市町村	自転車活用推進法では、市町村計画は県計画を勘案して策定することとしている。今後、2022年に計画見直しを予定していると伺ったが、それまでに策定を目指して進めている市町村の推進計画との整合性の面から、定期的な情報提供や説明会の開催をお願いしたい。	定期的な説明会等を実施することにより、市町村の計画との整合を図っていきます。	施策1-① 「県内市町村に対し、本計画の周知や必要な調整、定期的な説明会等を実施し、市町村自転車活用推進計画及び自転車
市町村	現段階では、計画を作成する予定がありません。計画を作成する職員の人材不足に加え、計画作成するノウハウが無いため業務委託を発注する必要がある、発注する財源もありません。	市町村に対し、様々な方法により各種計画を策定できるような手助けを行いたいと考えています。計画策定に向けて協働して推進したいと考えています。	ネットワーク計画の策定を積極的に技術支援することで、連続的な自転車通行空間の形成に取り組む。※」 ※自転車ネットワークの形成や自転車通行空間の整備にあ
市町村	P.11:「自転車利用と健康」=最近、「健康経営」に取り組む企業が増えている。運動機会の増進に向けた取り組みとして、自転車通勤の推奨があると思うので、通勤時の渋滞解消にも資する自転車通勤を進めることが有効。このことを県の自転車活用推進計画にも取り上げていただきたい。	自転車通勤は健康関連の施策として整理しているところですが、ネットワーク計画策定時の考慮事項として、渋滞解消の観点も明確にいたします。	たっては、歩行者の優先を原則とし、自転車通学の安全性向上を重視するとともに、自転車通勤や主要渋滞箇所など、需要を踏まえた検討を行うものとする。
市町村	自転車ネットワークに行政境は関与しないと思いますので、隣接する市町において方向性を合わせる必要があります。例えば、行政境を跨る国県道において、一方で路面標示があり、他方でないようなことが生じないようにする。	各市町村の自転車ネットワーク路線等を連結させ、広域的なネットワーク形成にあたっては、横断的な機関による計画検討を行います。	施策1-③ 「各市町村の自転車ネットワーク路線やサイクリングコース等を連結させ、広域的な自転車ネットワークを形成するために、横断的な機関における計画検討を実施する。」
市町村	当計画に「自転車協会」などと言った自転車に関連する企業の意見なども取り入れてみてはいかがでしょうか。	本計画の策定にあたっては、愛知県サイクリング協会からご意見をいただきました。	(施策については前述を参考)